

4. 雲南市の食育推進に対するご意見をお聞かせください。

※自由記述で回答いただいた原文のまま掲載しています。

- ・産直、加工品グループ、企業など頑張っている取組をもっと紹介する。
- ・「雲南の郷土食」は安全で安心なので、とてもよいと思います。若い人たちにも郷土食が伝わっていったらもっと良いと思います。
- ・小学校や幼稚園、保育所でとても関心高いです。食育の勉強をどんどんしてほしい。
- ・食育推進という活動が何を向上させているのかよく分からない。
- ・取り組みがあまり伝わってないように感じられます。具体的な成果、今後の対策をしっかりと願います。
- ・もう少し、お食事処を増やしてほしい(和食、カフェ系)。
- ・問10の回答は全て必要な事ばかりのように思う。全部必要です。
- ・食べることは楽しみでもあり、成長のために必要なことであると思います。こうしたことから雲南市は恵まれた環境にあると思いますのであらゆる世代で食育が進むことを願います。
- ・子どもも大きくなり、“食育云々”と離れた生活になった。高齢になりつつある両親の生活リズムの為に一緒に食事をとることのみ心がけている。
- ・都会に手紙出す時は『雲南市』ではどこの県か知らない人が多いと思うので「島根県」を入れる様にしていますが全国にアピールできる雲南の食べ物がうまれてほしいと願っています。
- ・米、野菜、果物が豊富で新鮮なものが多く、若い人や子供達にもいろいろな食育の講演をして頂いたり、調理、弁当作りなど小中高生に指導してもらい有難く思っています。
- ・地元で取れた食材を使って料理して食べる事が健康の元になると思います。
- ・食育は良いと思うのですが、仕事が忙しすぎて、調理時間がほぼなく、上手く食事をする事が出来ません。
- ・やはり、農薬をなるべく使用しない物作り。
- ・たまに、有線放送で放送されてることしか思い浮かばないが、どのような活動をされてきたのかがわからない。例えば、新聞に記事を書けるなどもっと大々的に広く周知できるような広報の仕方を執ると良いと思う。
- ・若い人、子供達に土に接する機会を設け大地の恵みのありがたさを感じてほしいイベントなどで作ったり食べたりする場合、できたから勝手に食べたりしないで、全員と一緒にたべること(せっかくの機会だからあいさつ、食べ方等々説明して)
- ・特に食育に力を入れていると感じない
- ・何の漬物が郷土食ですか？またアンケートしてください。
- ・中学校で「弁当の日」の取組があると聞きます。食べることに意識を向けることができ、とてもよいことだと思います。また、幼少期の食からが大事であると思うので、若いお母さん達に難しい幼児食の作り方を教えるなど、敷居を低くした指導があると良いと思います。
- ・人間が生きて行くに、食はとても大切な事。もっと、皆が関心を持つ場があったら良いと思います(料理教室などあればよいと思います。)
- ・日々の生活の中で、雲南市が推進する「食育」を目にすることがない。もっと積極的なPRが必要だと思う。

- ・はつらつデイサービスに出させてもらっています。耳も音だけで何も聞けぬ。栄養士さんの話でも。プリントがあり、大方のことは分かるけど、お話の言葉わからず。ただ声だけ。スタッフの方が紙に書き教えて下さるので有難いと感謝しています。家族が居るので1人暮らしではないから。
- ・“もったいない”で育った年代です。一粒の米にも農家の苦労があると育てられました。ポイ捨てする年代の子供達に食べられることの幸せを知ってほしいと思います。給食などを残しているのを見ると残念です。
- ・私たちは愛育班の活動の中で、食の大切さ、子育てにおける食生活の重要性を学習しました。減塩等いろいろ学習することにより、より良い食生活を送ることができると思います。学ぶことにより、より関心を持つことによって健康の推進にもつながると思います。
- ・時折、講演会が開かれるようだが参加できかねる。そこで、高齢者向けの食材調理法方法等参考になるパンフレットでもあれば幸である。
- ・農業の大切さを学んでほしい。
- ・趣旨に記された「様々な取り組み」がわかりません。わからないながらもこのアンケートにこたえます。取り組みの効果測定につなげて、成果だとは思わないでほしい。引き続き頑張ってください。
- ・女性の多くは地区外、市外、県外から雲南市に来ているわけですので、郷土料理等を守っていく為にも、いろいろ知りたいと私は思っています。ケーブルテレビ等を通じて、教えてもらえたらと思います。食育推進の活動をあまり知らないので書かせていただきました。
- ・日本の子供は恵まれている事を教えるべきだと思います。世界中に十分な食事が出来ない子供はたくさんいます。感謝の気持ち、思いやる気持ち、大切にすること、大人も子供も教えるべき、考えるべき事はたくさんあります。
- ・年を重ねたので、なかなか思うように出来ませんが出来るかぎりがんばります。
- ・食育に熱心にやっておられると思っています。
- ・仕事が忙しく家族全員で食事を取ることが少ない中、食育について考えることは大切。このアンケートで、郷土料理を再認識しました。
- ・新聞、広報、ネットがない環境にいる人はいったいどんな活動をしているのかさっぱり分かりません。
- ・濃いだしで煮しめを炊いて、塩分ひかえめの煮物を。(濃いだしで塩分がひかえられる)
- ・ここ数年の食に関するとりくみを学校など教育機関からの発信でありがたく参加しています。知っていても、日々の生活で続かなければいけません。食べることにより命をはぐくみ、生命の尊さ、感謝を学ぶのには欠かせない経験です。子供たちが理解できるようになるには大人になってから感じる部分なので時間がかかるとは思いますが、それを育む環境は親から私たちにもしてもらったようにしてやりたいです。
- ・雲南市にはおいしい野菜がたくさんあります。出来るだけ地元の食材を買い、子供たちが小さいときから手伝いをし、一緒になって台所に立ち、作り、いただく。自然にマナーも感謝も身につくと思います。台所は散らかるかもわからないが、片付けることも勉強です。
- ・イベントに参加したことがありますが、ここまで考えておられるのか、と感じるくらい深く、市民のために考えておられることを感じました。大切なとりくみだと思います。家族の和は食事から生まれる気がします。今後に期待しています。

- ・大東の方では、小学校・中学校共に、食育推進に力を入れていると思います。学校の方でも、お弁当の日を設け自分でも作ろうということで、全部できなくても詰めるだけとか、一品でも作る、買い物に行って食材を選ぶなど自分でもやろうという気持ちを大切にしています。中学生になるとほぼ自分で作り、小学生でも早くから起きて一生懸命作って、お弁当の日を楽しみにしています。また、PTAの方で、お弁当の日で有名な竹下先生をお呼びして講演を開いたりしています。